

平成24年度事業別評価調書（チェックリスト）

整理番号	204	事業名	森林管理道整備事業 (育成林整備事業)	補助 単独	地区名 (事業箇所名)	戸渡藤沼線 (とわたりふじぬま)	関係 市町村名	須賀川市	担当部(局) 課名	農林水産部 森林整備課												
評価の対象となる理由	第1項第3号 事業採択から一定期間を経過し継続中の事業				前回(平成 年度)評価時 の対応方針	委員会からの提言：－ 付帯意見：－		県の対応方針：－														
事業根拠法・要綱等の名称	森林法第5条、同第193条、 森林法施行令第2条の2																					
事業 の 概 要	【事業目的及び全体計画】 ※[]：事業採択時 (1) 事業目的 須賀川市の北西に位置し、重要な水源地でもある森林の骨格的な林道として、森林施業の効率化・組織化に伴う林業生産性の向上、林業産業の振興と、適正な森林整備の促進による水土保全等公益的機能の高度発揮の基礎となるほか、山村地域の生活環境の改善にも資することを目的とする。					事業 を 巡 る 社 会 経 済 情 勢 等 の 変 化																
	(2) 全体計画 [8, 175] 幅員 W=4.0(5.0)m 延長 L=8,670m 起点 須賀川市長沼地内 終点 須賀川市勢至堂地内																					
	事業の採択年度	H14	完成目標年度	H26	用地着手年度						－	工事着手年度	H14									
	事業費(百万円)	全体事業費 (うち用地費)	これまでの 投資事業費 合計	左の財源内訳又 は負担割合	これまでの年度別投資実績(23~24年度は見込額である。)																	
	[1,390] 1,425 ()	1,141 ()	国 45.0% 県 27.5% 市町村27.5×69% その他27.5×31%	~21年度	22年度	23年度	24年度	53 ()														
進捗率	事業費ベース	80.1%	用地費ベース	－%	その他(整備延長)		76.1%															
事業 の 進 捗 状 況	【整備の状況】 整備延長 6,595m(76.1%) (平成23年度末)					【事業に関する社会経済情勢】(特記すべき事項) (1) 現在の状況 近年の木材価格の低迷等による林業木材産業の経営が厳しい状況が続いているが、森林施業の効率化・組織化に伴う林業生産性の向上、林業産業の振興と、適正な森林整備の促進による水土保全等公益的機能の高度発揮の基礎となる骨格的な林道として、早期整備が求められている。 整備済み区間については森林整備が進められている。 (2) 変化の有無 有(無) (3) 変化の内容 ー (4) 地域の協力体制等 当該路線は、地元自治体及び受益者とも事業採択後も一貫として開設に対する要望が強く、工事の施工にあたっては協力的である。 【事業に関連する評価指標等】 (1) 主要な評価指標の変化 <table border="1"> <thead> <tr> <th>事項</th> <th>事業採択時</th> <th>今回評価時</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用区域面積(ha)</td> <td>672</td> <td>672</td> <td>採択要件 50 ha以上</td> </tr> <tr> <td>開設効果指数</td> <td>2.16</td> <td>3.83</td> <td>採択要件 0.9 以上</td> </tr> </tbody> </table> (注) 開設効果指数とは林道開設に必要な森林資源を有しているかを数値化したものである。 (2) その他特記すべき事項 特になし 【環境への影響等】 稀少野生動植物の情報に基づく対応 (実施)・未実施 (1) 環境への影響内容とその対策 全体計画調査では、林道周辺において配慮すべき希少な動植物は確認されておらず、レッドデータブックふくしまの情報検索においても該当はない。 路線の線形については、地形の改変を極力縮小させるため地形に沿った平面線形や縦断線形を基本とし、法面は緑化工、木製品の積極的な導入に取り組んでいる。また、アスファルト再生材及び再生骨材を積極的に利用するなど建設副産物のリサイクルを推進している。 (2) その他特記すべき事項 特になし					事項	事業採択時	今回評価時	備考	利用区域面積(ha)	672	672	採択要件 50 ha以上	開設効果指数	2.16	3.83	採択要件 0.9 以上
	事項	事業採択時	今回評価時	備考																		
	利用区域面積(ha)	672	672	採択要件 50 ha以上																		
開設効果指数	2.16	3.83	採択要件 0.9 以上																			
【事業実施上の課題や問題点、今後の事業見通し】 事業の進捗を確保するため、起・終点側より2工区体制で工事を実施してきたが、東日本大震災に伴い既設区間で被災したことから、平成24年度は1工区のみ実施している。 被災箇所については、平成24年度に復旧工事を行い、平成25年度以降は2工区体制による工事の実施が可能となることから、コスト縮減に努めながら、予定の事業期間内での完了を図る。																						
みなし執行額=全体事業費/全工期×経過年数=1,425百万円/13年×11年=1,206百万円 みなし進捗率=これまでの投資事業費計/みなし執行額=1,141百万円/1,206百万円×100=94.6%																						
【関連事業の進捗状況】 既設の被災箇所については林道施設災害復旧事業の査定実施済み。																						
評価					評価																	
(A) B、C					(A) B、C																	

平成24年度事業別評価調書 (チェックリスト)

地元住民・受益対象者及び関係機関の意向	<p>【地元住民・受益対象者の意向】 (1) 事業採択時の状況 森林所有者から、施業地へのアクセス時間の短縮や伐採木の搬出など効率的な林業経営を実施するため、さらには国道294号線の緊急時の迂回路のために当該林道の開設が強く要望された。 (2) 評価実施時の状況 上記と同様に要望されている。</p> <p>【関係機関・団体の意向】 (1) 事業採択時の状況 森林施業が立ち後れている広範囲な森林資源の利活用が図られるほか、国道294号線の緊急時の迂回路として、また、隣接する観光施設へのアクセス道としても期待されることから、須賀川市（旧長沼町）より林道開設の強い要望があった。 (2) 評価実施時の状況 須賀川市より上記と同様に要望されている。</p>	計画変更の必要性・コスト縮減や代替案立案等の可能性	<p>【計画変更の必要性】 (1) 必要性の有無 有 ・ 無 (無) (2) 計画変更の理由及び内容 -</p> <p>【代替案立案の可能性】 本路線は森林資源の活用を図るための骨格的な林道であり、地形状況から代替案は考えられない。</p> <p>【コスト縮減の取組等（特記すべき事項）】 地形に即した線形を基本として、土工量と切土法面の縮減に努め、建設発生土を可能な限り現場内処理するとともに、擁壁等の構造物を最小限にするなどコストの縮減を図っている。</p>				
	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="padding: 2px 5px;">(A) B、C</td> </tr> </table>	評価	(A) B、C	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="padding: 2px 5px;">(A) B、C</td> </tr> </table>	評価	(A) B、C	
評価	(A) B、C						
評価	(A) B、C						
費用対効果分析等の要因変化	<p>【費用対効果分析等】 (1) 手法 林野公共事業における事前評価マニュアルに基づく （林野公共事業における事前評価の手法について 13林整計第541号H14.3.26 最終改正H22.3.31）</p> <p>(2) 費用対効果の変化 [前回評価（平成14年度）時] [今回評価時]</p> <p>$B/C = \frac{2,575 \text{ 百万円}}{2,100 \text{ 百万円}} = 1.23$ $B/C = \frac{3,525 \text{ 百万円}}{3,127 \text{ 百万円}} = 1.13$</p> <p>【費用の変化等で特記すべき事項】 特になし。</p> <p>【需要効果の変化等で特記すべき事項】 国の通達・指導に基づく費用対効果分析の計算手法の変更。</p>	総合評価	<p>【総合評価と対応方針案】 (1) 総合評価</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 利用区域内の施業地へのアクセス時間の短縮や伐採木の搬出など効率的な森林施業を推進するとともに、国道の緊急時の迂回路にも資する路線であり、地元より早期完成の要望もあることから継続して実施する必要がある。 </div> <p>(2) 対応方針及び今後の事業の進め方</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width:20%; padding: 5px;">対応方針案</td> <td style="padding: 5px;">事業継続</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">今後の事業の進め方</td> <td style="padding: 5px;">今後も引き続きコスト縮減を図るとともに、地元住民や受益者等の意向をふまえ、計画的な施工により目標年度内での完成を目指す。</td> </tr> </table> <p>(3) 事業見直し継続、休止、中止する場合の対応</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p style="text-align: center;">-</p> </div>	対応方針案	事業継続	今後の事業の進め方	今後も引き続きコスト縮減を図るとともに、地元住民や受益者等の意向をふまえ、計画的な施工により目標年度内での完成を目指す。
	対応方針案	事業継続					
今後の事業の進め方	今後も引き続きコスト縮減を図るとともに、地元住民や受益者等の意向をふまえ、計画的な施工により目標年度内での完成を目指す。						
<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="padding: 2px 5px;">(A) B、C</td> </tr> </table>	評価	(A) B、C	<table border="1" style="display: inline-table; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="padding: 2px 5px;">評価</td> <td style="padding: 2px 5px;">(A) B、C</td> </tr> </table>	評価	(A) B、C		
評価	(A) B、C						
評価	(A) B、C						

戸渡藤沼線位置図

全体 W=5.0m L=14,300m

第2期工事分L=8,670m

工事完成分L=3,251m

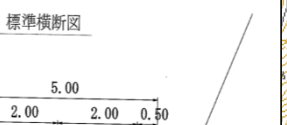
H24以降計画分L=2,075m

工事完成分L=3,344m

ふるさと林道施工分 L=620m

ふるさと林道施工分 L=50m

第1期工事分 L=4,960m



凡 例	
	既設区間
	H24年度施工区間
	H25年度以降施工区間
	利用区域
	民有林
	国有林
	官行造林
	保安林
	林道起終点
	国道
	県道
	市道

(別紙)

204-4

費用対効果分析

森林管理道整備事業（育成林整備事業）

$$\frac{\text{便 益 } B}{\text{費 用 } C} = \frac{B① + B② + B③ + B④}{C① + C②}$$

[費用項目]

C①：当該路線の工事期間中に要する事業費

C②：当該路線の評価期間内に要する維持管理費（該当市町村の林道維持管理費の実績平均値を基に算出）

[効果項目]

B①：木材生産便益

・林道の整備による、木材搬出経費の縮減、同経費の縮減による間伐材利用量の増加、主伐期木材生産量の増加に係る便益額。

B②：森林整備経費縮減等便益

・林道の整備による、森林施業地点への作業員の歩行・資材運搬等経費の縮減、治山事業実施のコスト縮減、森林管理のための巡視等の歩行時間の縮減、適正な森林整備推進による公益的機能の増大に係る便益額。

B③：森林の総合利用便益

・林道の整備による、森林の保健休養利用時の車輛走行経費の縮減、市民と森林とのふれあい機会の創出、キノコ栽培等副産物の生産量確保に係る便益額。

B④：その他の便益

・林道の整備による、森林整備等ボランティア確保、森林内施設の維持管理経費縮減に係る便益額。

[考え方]

工事期間と完成後40年間に生ずる効果額、費用額を現在価値化して比較する。

計算例	B①	B②	B③	B④				
	1,691,003	+	1,795,370	+	3,327	+	35,149	
	<hr/>				=	3,524,849	=	1.13
			3,111,644	+	14,984		3,126,628	
			C①		C②			